

# 白 神 通 信



早春の藤里駒ヶ岳を望む（2025.3.10 藤里町 藤琴橋より撮影）

## [contents]

- ◆令和6年度第2回白神山地世界遺産地域合同パトロール（秋田県側）・・・P2
- ◆小岳マツノクロホシハバチ調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
- ◆令和6年度第2回白神山地世界遺産地域巡視員会議（秋田県側）・・・P4
- ◆中・大型哺乳類調査用センサーカメラのデータ回収・・・・・・・・・・P5
- ◆能代山本地域のニホンジカについて学ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・P6
- ◆まち自慢講座で白神山地を学ぶ（藤里町社会福祉協議会）・・・P7
- ◆藤里町民祭2024への出展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8

藤里森林生態系保全センター 令和7年3月27日 No.111

# 令和6年度第2回白神山地

## 世界遺産地域合同パトロール

令和6年9月7日(土)、白神山地世界遺産地域巡視員ほか関係機関による、合同パトロールが、小岳登山道において実施されました。

当日は巡視員、環境省、秋田県、東北森林管理局職員など 26 名でのパトロールとなりました。

登山日和の晴天の中実施したパトロールでは、登山道及び遺産地域への不法投棄や樹木の損傷などのマナー違反は確認されませんでした。また、パトロール中に会った登山客の方にマナー啓発のパンフレットを配布しました。

今後も、白神山地世界遺産地域の豊かな生態系を管理し、来訪してくださる皆様の安全のためにも、合同パトロール及び、日常における巡視を継続してまいります。

小岳山頂からの岩木山



小岳山頂からの白神山地核心地域



慎重に下山…



下山後の意見交換会



## 小岳マツノクロホシハバチ調査

令和6年10月17日、小岳山頂付近において、マツノクロホシハバチの生育調査を実施しました。

マツノクロホシハバチは、ハイマツの葉を食害する幼虫で、過去には、数年おきに大きな食害が発生し、小岳山頂付近の生態系や景観への影響が懸念されています。

調査は、ハイマツが見られる箇所から山頂までの登山道沿いに行き、登山道から目視できる範囲と目視が難しい箇所は双眼鏡及び高倍率のデジタルカメラを併用して調査を実施しました。

当日は秋晴れの好天となり、調査箇所をゆっくり注意深く観察し無事に調査を終了することができました。

令和3年と4年は、小岳登山道に至る林道が災害復旧工事により本調査は実施されていませんでしたが、昨年引き続き今年の調査でもマツノクロホシハバチの発生はなくひと安心したところです。

来年以降も引き続き調査を実施していくことにしています。

双眼鏡での遠望の様子



登山道沿いのハイマツの状況



デジタルカメラ広角側で撮影



デジタルカメラ望遠側で撮影



# 令和6年度第2回白神山地

## 世界遺産地域巡視員会議

令和6年12月6日（金）強風吹き荒れる荒天のなか、八峰町文化交流センター「ファガス」において令和6年度第2回白神山地世界遺産地域巡視員会議（秋田県側）が開催されました。

巡視員 16 名のほか、主催の東北森林管理局、東北地方環境事務所藤里自然保護官事務所、秋田県自然保護課、同環境保全課、能代市環境衛生課、藤里町商工観光課が出席しました。

会議では、東北森林管理局から令和6年度の主な事業実績として、巡視員による巡視活動、樹木損傷等の報告、合同パトロール1日巡視員募集試行結果、当センターからは合同パトロールの実施、核心地域への入山状況、東北地方環境事務所から令和5年度のニホンジカの生息状況、秋田県自然保護課から松くい虫・ナラ枯れ被害について、それぞれ説明がありました。

主催者あいさつ



関係機関による説明



今回初めての試みとして巡視員によるグループ討議を行いました。テーマを「今年度の巡視の経験を踏まえて伝えたいこと」、「気付いたこと」、「巡視における悩みや良かったこと」、「共有したいもの」等として討論し発表していただきました。その中で、「核心地域への巡視機会が少ないので、合同パトロール等巡視機会を設けてほしい」といった要望や、「パトロール中、一般登山者にパンフレットを配布し声掛けしたら感謝され大変気分良かった」というような報告がありました。また、討論自体についても、「今後も討議は続けるべき」、「やるならもっと時間をかけた方がよい」との意見もあり有意義な討議となりました。

## 巡視員によるグループ討議



## 中・大型哺乳類調査用

## センサーカメラのデータ回収

令和7年3月11日、冬期における中大型哺乳類の生息調査のために設置されているセンサーカメラの回収を行いました（冬期調査は今回で終了）。

センサーカメラは、八峰町内に6箇所（国有林2箇所、民有林4箇所）設置し、ニホンジカの越冬地の把握等も含めた調査を実施しているものです。

今シーズンは、去年の暖冬と違い、内陸部と比べると雪が少ない八峰町とはいえ、場所によっては雪を漕ぎながら現地に向かう箇所もありました。

前回のデータ回収は1月15日で約2か月ぶりとなります。センサーカメラを立木から取り外し、画像が記録されているか確認、併せて周辺に食痕等がないか確認しながらの作業となりました。

冬期調査で撮影されたのは、ニホンジカを含む哺乳類11種で、農作物や生態系に影響を及ぼすハクビシンやイノシシも撮影されていました。

ホンドキツネ



ニホンザル



冬期間の撮影が終了後、集計したデータは、今後の業務の参考や、白神山地世界遺産地域科学委員会の資料としても活用されます。

4月以降、雪に閉ざされた林道が開くのを待って今後も調査を継続していきます。

ニホンジカ



ニホンジカ



## 能代山本地域のニホンジカについて学ぶ

令和6年8月30日、県立能代高校から3名の生徒が、ニホンジカ(以下、「シカ」。)の被害をテーマに、地域の自然について学ぶため、来所しました。

まず座学として、生徒さんが考えてきた質問に答えました。「シカのもたらす被害」をはじめ、「防除の仕方」、「対策の効果」や「防除に係る課題」など、シカの生態そのものから被害対策に至るまで様々な質問が飛び出しました。

それに対し、「シカによる農業・林業被害」、「対策・防除の現状」や「今後のシカの動向」などについて、センター職員から説明をおこないました。

また、「自分たちで行えるシカ対策はあるのか」という質問もあり、生徒さんたちがシカの問題について、自分たちのこととして学ぼうとしていることを感じました。

当所長による座学



展示室内での説明



座学の後には、展示室においてシカとカモシカの写真を見比べ、シカ生息状況の把握のためには、能代山本地域の方々が「カモシカとシカを見間違えたり、見逃さない」ことが大切、といった事などを説明しました。

生徒さんたちのシカへの関心、自分たちに何ができるのかを食欲に学ぼうとする姿勢に感心するとともに、若い人たちがこういったことを学ぼうとしてくれていることに心強さも感じた1日となりました。

### 展示室内での見学



## 「まち自慢講座」で白神山地を学ぶ

### ( 藤里町社会福祉協議会 )

令和6年10月23日、藤里町社会福祉協議会が行っている「まち自慢クラブ」の一環として「世界遺産 白神山地を守るために」について当センターに講演依頼があり、センター内の研修室と展示室を使用し、白神山地での取組を紹介したところです。

「まち自慢クラブ」では、町民が記憶や経験を語り合い、学び合いながら藤里町の魅力を再発見して、それを発信していくという趣旨で毎月火曜から金曜まで様々な講座等を開催しています。

当センターでの受講者は70代から80代の女性7人、最高齢の方は88歳でした。

はじめに、若手職員が資料を使って、当センターの業務内容、白神山地の概要と保全活動について説明し、その後 展示室を見学しました。

活動の一つであるオオハンゴンソウ除去の必要性について、所長からの説明に聞き入っている様子、倒伏した400年ブナの写真や昔の林業の作業風景をじっくり見入っている様子が見られました。

懐かしい写真をもっと見たかった、また話を聞きに来たい、との感想が聞かれ、白神山地についての理解と当センターの役割について、理解して頂けたものと感じたところです。

当若手職員による講演



参加者の様子



展示室内での見学



## 藤里町民祭 2024 への出展

令和6年10月27日(日)、藤里町民体育館をメイン会場に「藤里町民祭2024」が開催され、当センターも写真展示や缶バッジ制作等で参加しました。

当センターの他には、白神山地世界遺産センター(藤里館)のブース、町内のサークル活動の作品展示や野菜などの産直、芸能発表などが行われ、会場は大勢の方でとても賑わいました。

当センターのブースは体育館の入口に面しており、持ち帰り用の白神山地関連のパンフレット類、センサーカメラで捉えた動物の写真、森林の役割を説明するパネルなどを展示して、白神山地の保全と管理における当センターの役割について理解して頂いたものと考えております。

パネル展示の他には、動物の写真などを缶バッジにするコーナーと小枝を使って簡単なアクセサリーを作る「もっくん」コーナーを設置しました。

展示している写真を説明する若手職員、倒伏した400年ブナについて説明する所長、何より忙しかったのは、子供たちが作成する缶バッジと「もっくん」作りのお手伝いでした。

出来上がった缶バッチを胸に付れたりバックに付れたり、小枝のアクセサリーを首から下げたりと笑顔に包まれる場面が多く、お手伝いする職員も笑顔に。

ほんの小さなきっかけから、少しでも白神山地や森林環境保全に関心を持って頂ければと感じた1日でした。

子どもたちに人気の缶バッチ



大人の女性にも人気の缶バッチ



女の子に人気の小枝のアクセサリー「もっくん」



「もっくん」作成の様子



(発行) 林野庁 東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター

TEL: 0185-79-1003

「白神通信」QRコードはコチラ

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/>



東北森林管理局広報  
「みどりの東北」  
QRコードはコチラ →



藤里森林生態系保全センター  
ホームページ QRコードはコチラ →

